

1 貯水槽周囲の状態



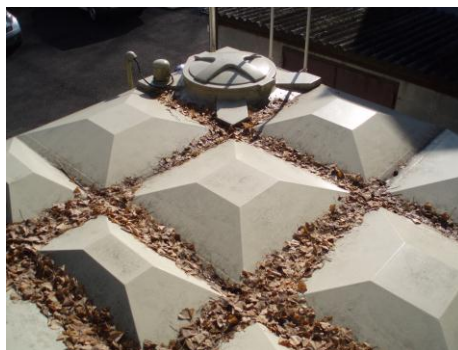
貯水槽周囲が植物や物品で覆われていると貯水槽の衛生状態（破損等）を確認できません。貯水槽周囲は点検、清掃、修理等に支障のない清潔な空間を確保しましょう。

2 貯水槽本体の状態



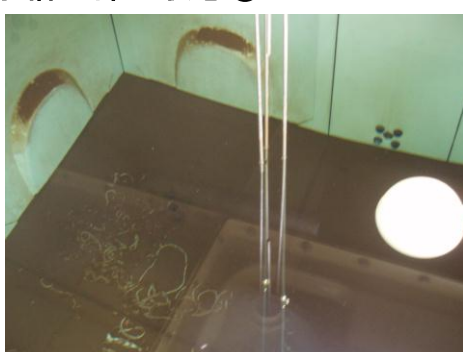
貯水槽に亀裂があると、雨水等が入り込み、貯水槽内が汚染されてしまいます。亀裂や隙間、漏水している箇所がないか確認し、必要に応じて補修しましょう。

3 貯水槽上部の状態



貯水槽上部に水たまりや落葉があると、昆虫等が発生して不衛生です。貯水槽上部は、水たまりがなく、落葉等衛生上有害なものが堆積しないよう管理しましょう。

4 貯水槽内部の状態①



貯水槽内部に異物や汚れがあると、貯水槽内が汚染されてしまいます。貯水槽内部は汚泥、赤さび等が沈でんしないよう管理しましょう。

5 貯水槽内部の状態②



外壁の塗装の劣化により光が透過すると、内部でコケ等が発生しやすい環境となってしまいます。必要に応じて補修しましょう。

6 貯水槽のマンホールの状態



パッキンの劣化、フタの未施錠により貯水槽内が汚染されてしまう危険があります。パッキンは補修、フタは施錠し、衛生上有害なものが入らないよう管理しましょう。

7 貯水槽のオーバーフロー管の状態



管端部の防虫網が破れると昆虫等が貯水槽内に入ってしまう。定期的に確認し、必要に応じて補修しましょう。

写真提供：一般財団法人北里環境科学センター

汚染事故等があったとき

汚染事故等により供給する水が人の健康を害するおそれがあるときは、直ちに給水を停止し、使用者等関係者に周知してください。

また、給水を停止したときは、直ちに環境政策課に報告してください。